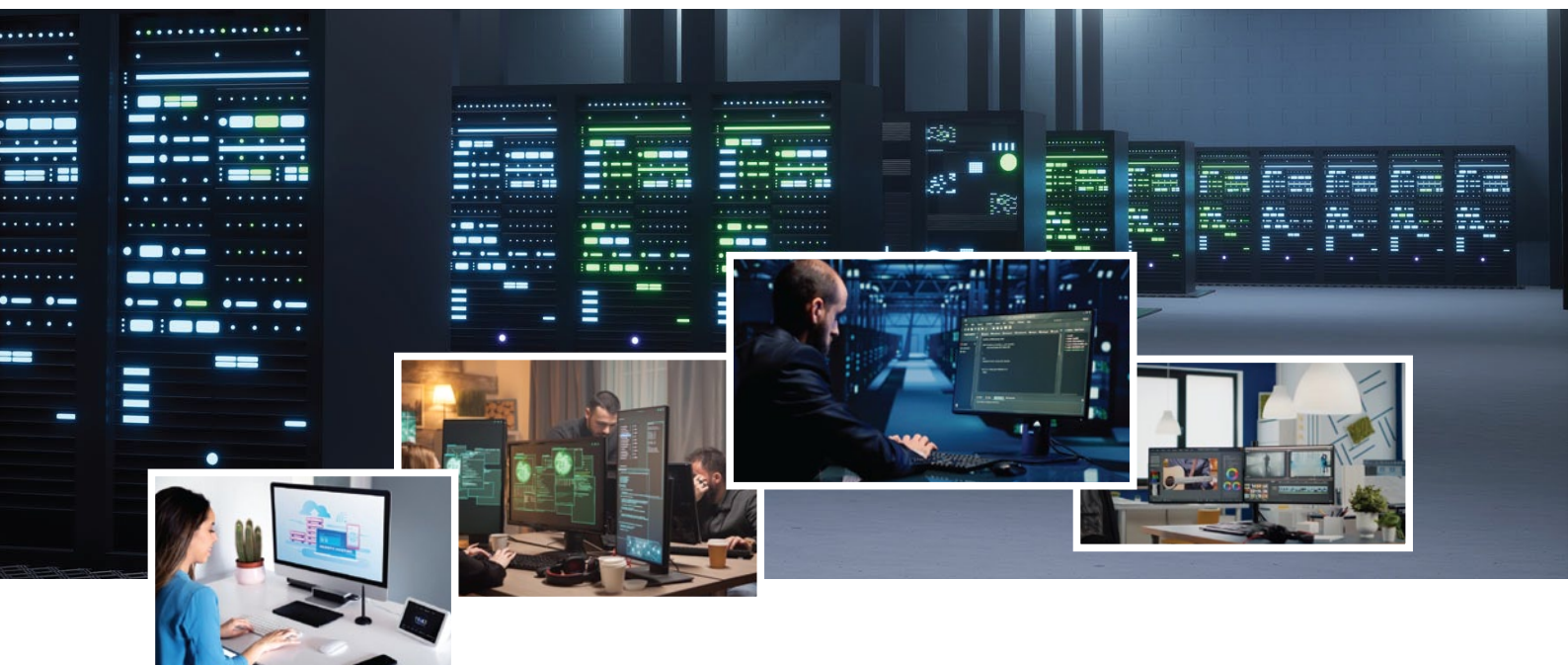




リモートPCアレイ RPA120



サーバーフォームファクター2UのRPA120は最大10個のスワップ可能コンピューティングノード(カートリッジ)を提供する集中ワークステーションアレイです。リモートでデスクトップに接続してハイエンドのワークステーション性能を利用できるようになり、企業はグラフィックワークステーションの高密度高性能の配備需要を満たして、セキュリティ、利便性、環境保護、省エネのメリットを受けられます。

RPA120内のカートリッジごとに専用CPUとRAMおよびSSD ストレージ、GPUが内蔵されています。

集中的リソース配分を行うVDI(仮想デスクトップインフラストラクチャー)とは異なり、この革新的デザインには個々のコンピューティングノードが備わり、パフォーマンスの妥協なく運用が可能な他、本格的アプリケーションの必要性を充足し、複雑なVDIでのパフォーマンスの課題を解決し、仮想化ソフトウェアの定期契約費用を節約でき、配備時間とセットアップ時間を削減し、TCO(総保有費用)を削減して、効率、省エネ、炭素削減という企業の目標をかなえます。

ワンデバイスに7つの便利な機能

RPA120の差別化点としては集中型の管理が容易なアレイに収まっている個別コンピューティングノードです。

ローカルでもリモートでもオフィスアプリケーションや本格的描画、ソフトウェア開発、ビデオ再生等のためのプラットフォームを提供して、一つの機器でセキュリティと多様性の必要性を充足します。



RPA120 の主な特長：

セキュリティ

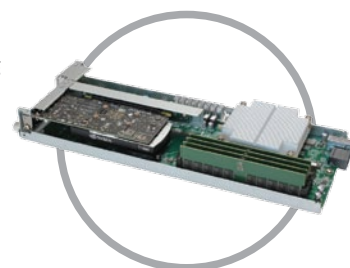
RPA120には最大10個のカートリッジ型コンピューティングノードを接続できます。各カートリッジは他のカートリッジとリソースの競合なく、スタンドアロンワークステーションPCと同様に専用タスクを処理します。エンドユーザーがリモート接続できるためにデスクトップを準備するには、IT管理者はオペレーティングシステムを配備して、必要なアプリケーションをインストールし、ネットワークのセットアップを行うだけです。コンピューティングおよび保存される計算結果はすべてリモートのRPA120に保存されるので、貴重なデータの漏洩を懸念する必要はありません。データはすべて優れる保護により守られます。

利便性

リッジはホットスワップ式です。

入れ替えや拡張（グレードアップ）が必要なとき、シャーシと他のカートリッジが作動中でもカートリッジの取り外しと差込が可能です。

さらに、各カートリッジのネットワークポートが内蔵イーサネットスイッチに接続されているため、ネットワーク配線での面倒がなくなりました。



パフォーマンス

RPA120には5個から10個のカートリッジを収納できる10個のカートリッジベイが含まれています。

各カートリッジにはグラフィックカード（GPU）専用のPCIe拡張スロットがあり、これを使って妥協せずにハイレベル、ハイエンドなコンピューティングが可能になります。

グラフィックワークステーション。

リソース配分にハイパーバイザープラットフォーム (VMware vSphere® や Citrix Hypervisor™ 等) が不要です。vCPUのパフォーマンスの課題やVM同士のリソース競合、vGPUの複雑な設定が解消され、高額なソフトウェアライセンス料を節約できます。

* RPA120 は標準カートリッジ (標準GPU搭載) または高度カートリッジ (ハイエンドGPU搭載) に対応しており、それぞれ1つか2つのカートリッジベイを占有するのみです。このため、RPA120に標準カートリッジは10個まで、高度カートリッジなら5個まで搭載することができます。

メンテナンス

ローカルではRPA120のKVMボタンで、またはリモートの管理コンソールからリモートKVM機能を使って、IT管理者はシステム状態を監視し、アプリケーションをインストールし、容易にファームウェアの更新もできます。

他のカートリッジが動作中でも特定のカートリッジだけメンテナンスすることができます。カートリッジを停止することなく、シャードファームウェアの更新さえ可能です。

拡張性

RPA120は様々なアプリケーション用に配備可能であり、必要なとき容易に拡張でき、RPA120システムを追加するだけでより多くのコンピューティングノードと容量が得られます。スケールアップした後、従来のサーバーで行っているようなリソースの再配分に時間も労力も費やす必要はありません。

省スペース

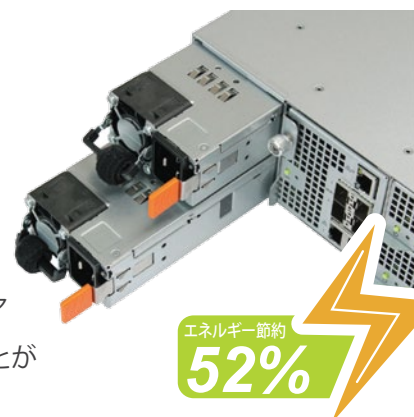
RPA120はその2Uシャーシに最大10個のカートリッジを収納できます。デスクトップにアクセスするためにユーザーがシンクライアントを介してリモート接続を作成します。現物デスクトップが10台あった従来の構成とは異なり、このソリューションではスペースの余裕ができて作業空間が快適になり、かなりの量の資材 (シャーシ等) が要らなくなります。

さらに、一カ所にすべてのコンピューティングノードを設置すると効果的な確認や管理ができるようになります。

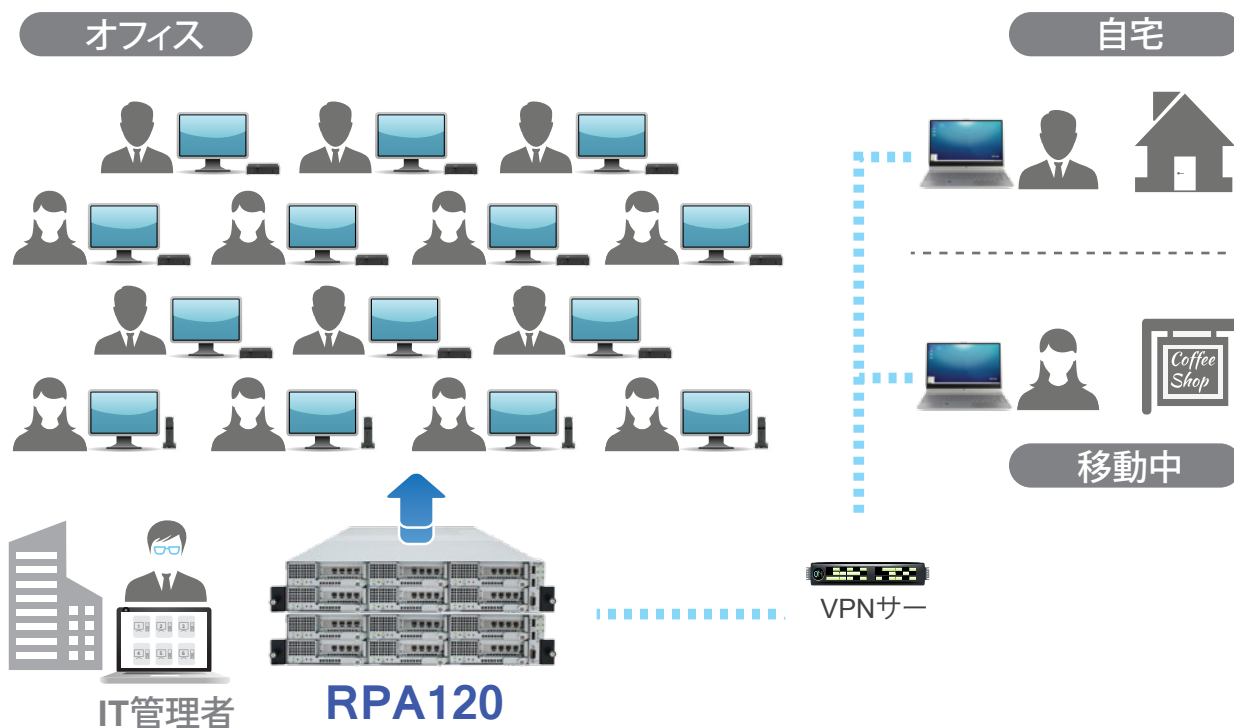
省エネ

RPA120には2台のホットスワップ式2000Wの電源が装備され、最大10個のカートリッジに供給するため、電源冗長性設計となっています。カートリッジにあるGPUを補助にして、プロモリモート接続でアートの創作、ビデオ編集、エンジニアリング図面等グラフィックの負荷が高いアプリケーションをシンクライアントや普通のパソコンだけで使用することができます。

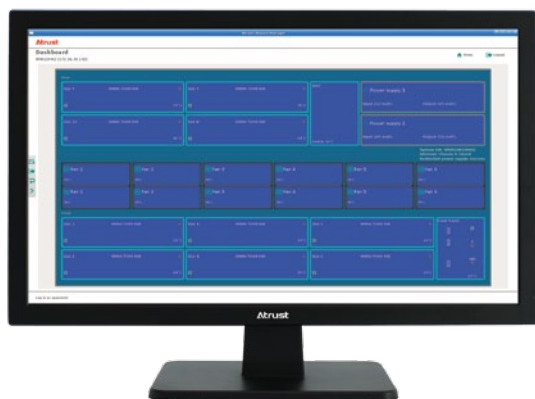
合計所要電力はワークステーションの従来型構成の48%にしかありません。省エネで環境に適合しています！



RPA アプリケーション



ACM - Atrust シャーシマネージャー



GUI (ACM / AFDM)およびCLI (SSH)
両方とも管理に使用可能

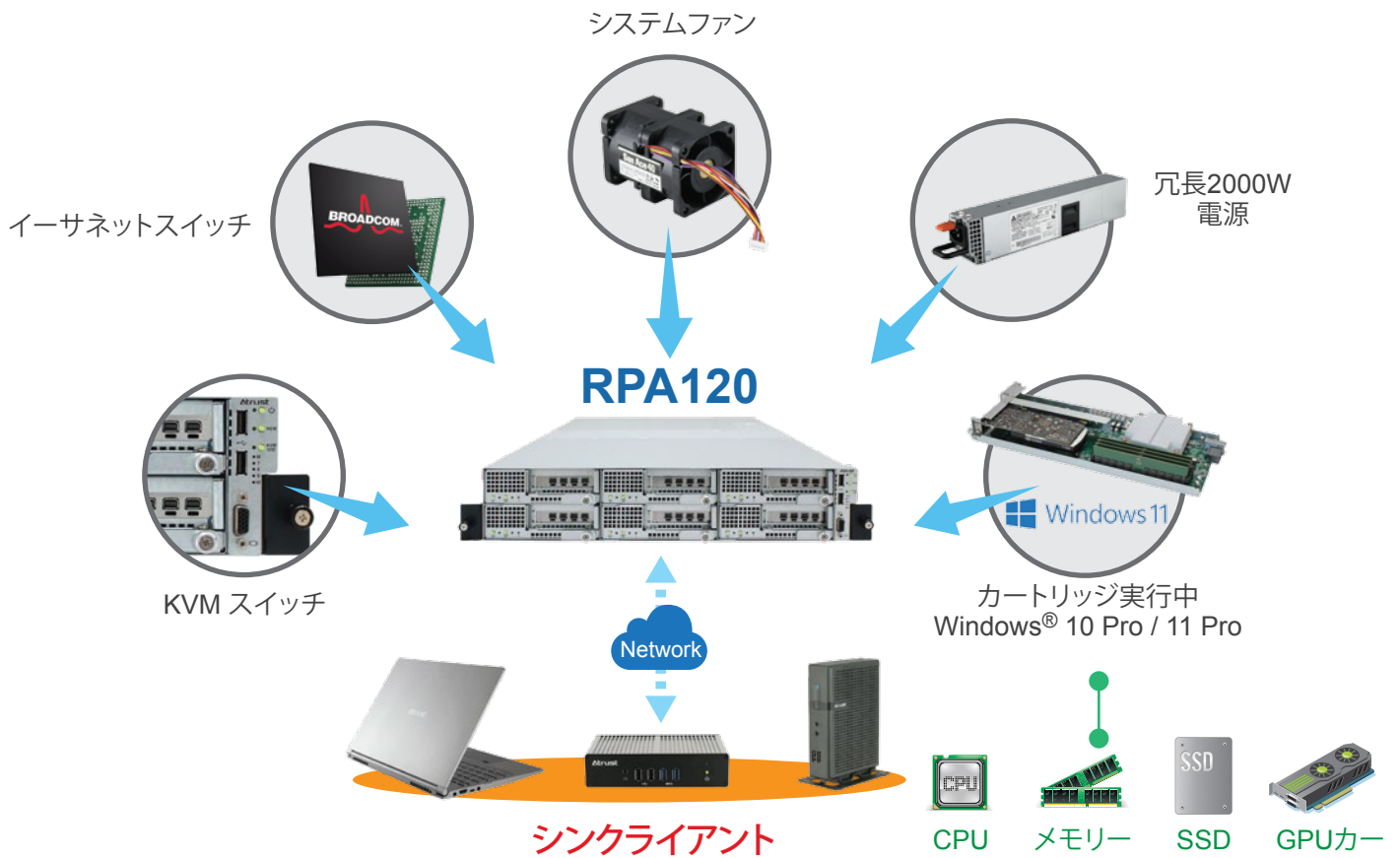
内蔵) スイッチとシャーシの管理

- CPU、PSU、FANのステータス
- 温度監視
- メールアラート
- ファームウェアバージョンとグレードアップ
- アカウント管理
- シャーシの構成 (IP等)
- スイッチの構成
- SNMPトラップサポート

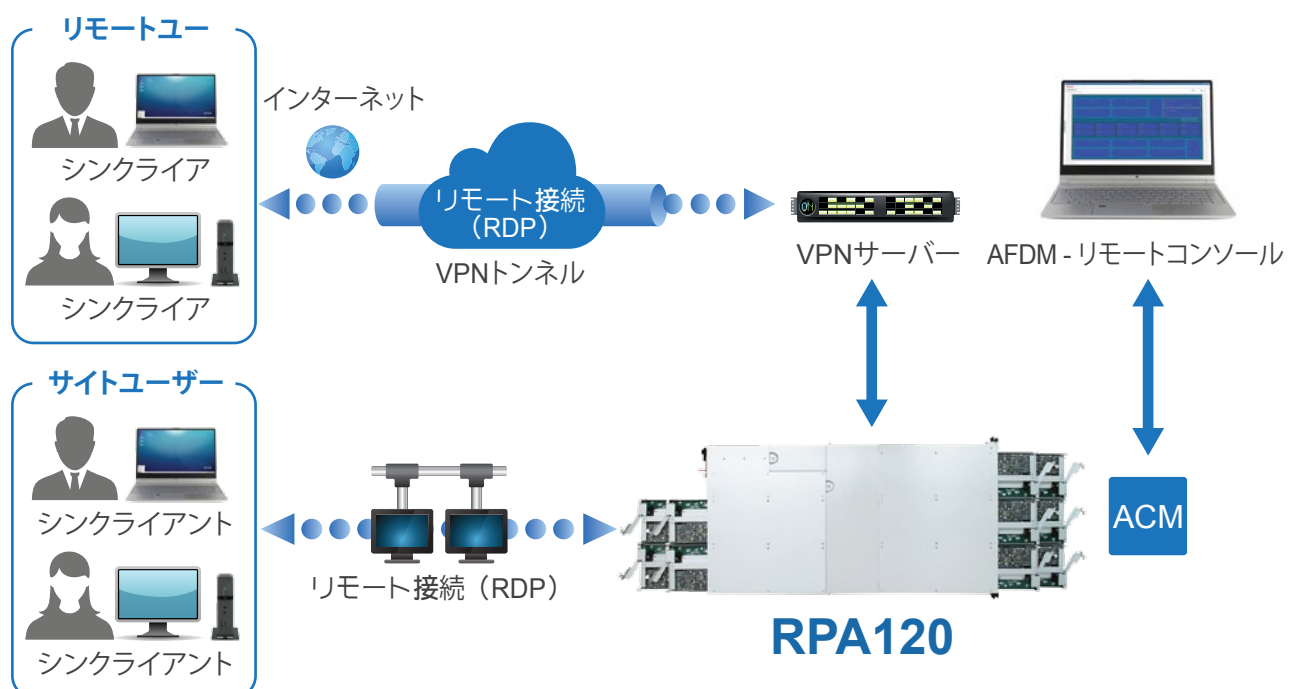
PC カートリッジの管理

- 電源制御 (オン/オフ/シャットダウン/再起動)
- ドメイン接続
- ホスト名変更
- IPとゲートウェイの変更

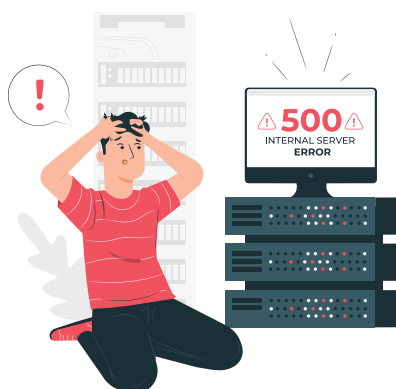
ワークステーションの集中アレイとハードウェア 配備費用削減



ネットワークポロジとインフラストラクチャー



○ オン・プレミスVDI配備バリアー



1 初期セットアップ

2 計画配備時間

3 予想されない
性能上の課題

4 予想されない
メンテナンス費用

5 将来的拡張費用

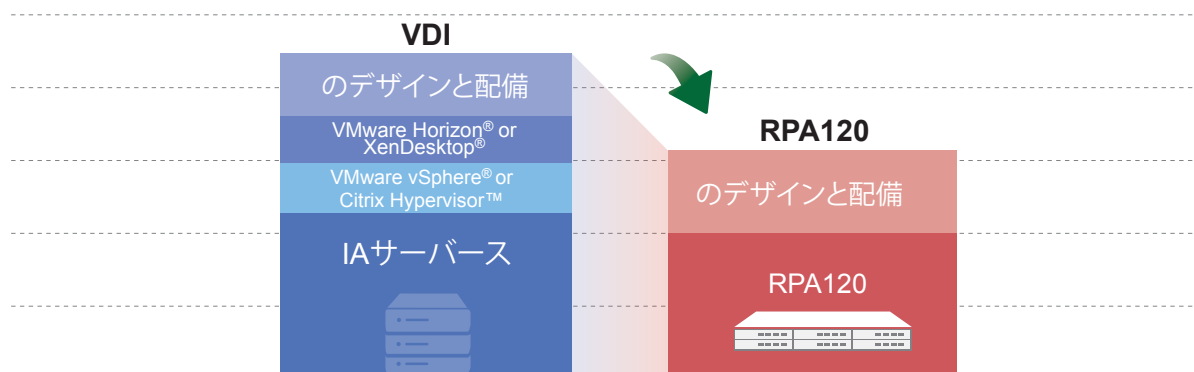
6 マイクロソフトの
高額ライセンス

リモートPCアレイ RPA120



○ 初期セットアップ費用

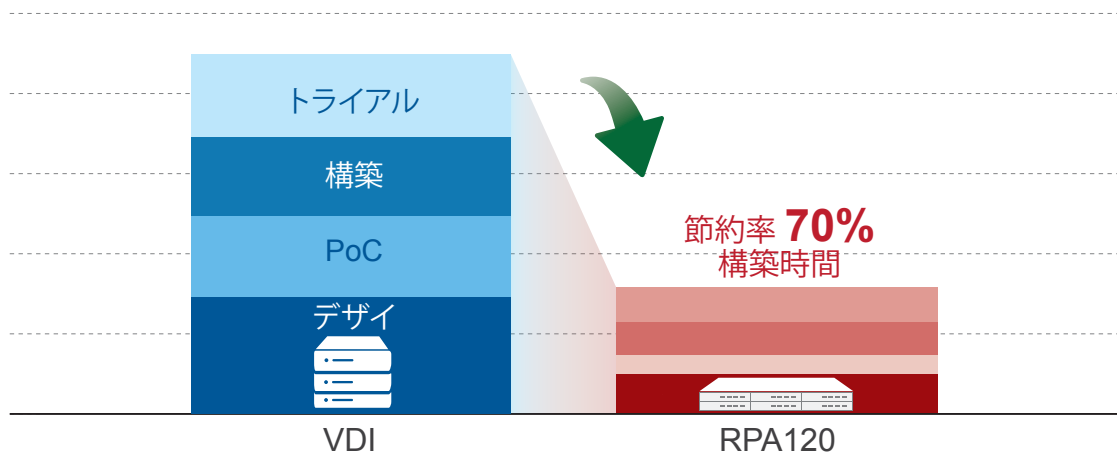
VDIとRPA120のコスト比較



*VDIとRPA120ともにメンテナンス費用を含みません

○ 計画時間と配備時間

ハイパーバイザーのセットアップやパフォーマンス評価が不要で、RPA120はVDIより70%も計画時間と配備時間を短縮できます。



VDIとRPA120の計画時間・配備時間の比較

○ 予期しない性能上の課題

VDIの潜在的
パフォーマンス
の課題

- 共有リソース
- ピーク時の過負荷
- ハイパーバイザーの課題



RPA120の
メリット

- 専用リソース
- 他者との競合なし
- ハイパーバイザー不要
- トラブルシューティングのシンプルな手順



○ 予測不可のメンテナンス費用



VDI - 困難なメンテナンス

トラブルシューティング:

ステップ1

ターゲット**VM**の確認とトラブルシューティング

ステップ2

必要ならすべての**VM**に影響する現物のサーバーをシャットダウンして再起動または入れ替えます。

RPA120 - 容易なメンテナンス

トラブルシューティング:

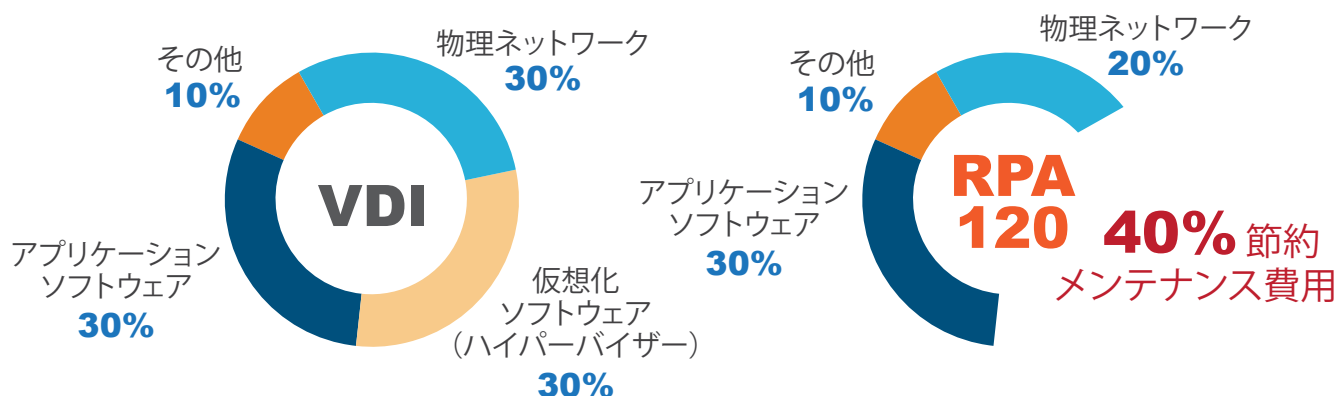
ステップ1

リモートで(もローカルでも)ターゲットカートリッジの確認とトラブルシューティング

ステップ2

必要なら他のカートリッジが動作中でも問題のカートリッジをシャットダウンして入れ替えることができます。

VDIとRPA120のメンテナンス費用比較



○ 拡張費用見積

VDI -
スケールアップが
困難

- 将来必要になる物は事前計画が困難 (VMのライセンス番号等)
- スケールアップが必要ときに計画して配備は困難 (リソースの再配分とVMの微調整が必要な場合もある)



RPA120 -
スケールアップが
簡単

- 新規ユーザー用の新しいRPA120を追加 (必要なときのみ新機器を購入)
- 停止せずに新しいRPA120を追加 (他の機器が動作中でも新機器をセットアップ)



リモートPCアレイ - RPA120



PC Cartridge	
Processor	Intel® Core™ i7-13700E i9-14900, i7-14700, i5-14500 (工場出荷オプション)
Memory	DDR5 ECC U-DIMM 32 GB (Total 4 DIMM slots, Dual-Channel, Max. 192 GB)
GPU	NVIDIA® RTX A1000 8 GB
Storage	M.2 PCIe NVMe SSD 128 GB / 256 GB / 512 GB 1 TB / 2 TB (upgrade option)
Network	Dual GbE NIC Per PC cartridge
Network Switch	
VLAN	Tag / Untag
LAG	静的, 動的 (LACP)
Spanning-Tree	STP, RSTP, MSTP
Management	GUI, CLI
Chassis	
Dimensions	(W) 430 x (H) 86 x (D) 864 mm
Weight	最大重量 32 kg (PC カートリッジ 10 台フル搭載、電源 2 台搭載)
Built-in component	PCカートリッジ x 10 KVM スイッチ x 1 イーサネット スイッチ x 1 ローカルマネジメントコンソール x 1
Power supply	ホットスワップ対応 デュアル 2000W 冗長化 200~240Vac
Operating humidity (Rh)	10~90%の相対湿度 (RH)
Operating temperature	5°C ~ 35°C
I/O ports	フロント : VGA x 1, USB 2.0 x 2 リア : 1 GbE (RJ-45) x 2, 10 GbE (SFP+) x 4, マネジメントポート (RJ-45) x 1
OS	
Supported OS	Microsoft® Windows® 10 Pro Microsoft® Windows® 11 Pro

© 2025 Atrust Computer Corp. ここに記載の情報は予告なく変更されることがあります。Atrust はここに含まれている場合がある技術的または編纂上の誤記や省略について責任を負いません。MicrosoftとWindowsはMicrosoft社の商標です。IntelおよびCoreはIntel Corporationの商標です。NVIDIAおよびNVIDIAのロゴはNVIDIA Corporationの商標です。Citrix Hypervisor とXenDesktopはCloud Software Groupの商標です。VMware、VMware vSphere、VMware HorizonはBroadcom, Inc.の商標です。www.atrustcorp.comで詳しい情報をご覧ください。

Atrust

Atrust Computer Corp. 台湾本社
台湾桃園市龜山區復興路361番3階
T: +886-3-3288837 / F: +886-3-3288973
sales@atrustercorp.com

Atrust Japan 株式会社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1 内田ビル2F
T: 03-6809-4736 / F: 03-6809-4786
sales-jp@atrustercorp.com